

創造・参加・実践
No.664

最新のJR西労組運動をチェックしよう!
JR西労組HP (http://www.jrw-union.gr.jp)



「友だち追加」から「ID検索」または「QRコード」で登録!
@dzc0159s



西日本旅客鉄道労働組合

〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目1番18号

西 阪 急 ビ ル 9 階

TEL06-6375-9869(代) JR071-7155(代)

(FAX)06-6373-4133 JR071-7151

発行責任者 上村 良成
編集責任者 石田原 潔

柿本忠則議員主旨説明内容

運行継続支援	公共交通維持のため、公共交通事業者に対する車両保有台数等に依じた事業継続支援の実施
公共交通の需要喚起	公共交通利用の需要喚起を図るため、公共交通事業者による企画乗車/乗船券の企画・販売を支援
「新しい生活様式」に対応する設備投資支援	公共交通事業者が、「新しい生活様式」に対応するための三密回避、接触機会の低減などの設備投資について支援

栗山雅史議員一般質問内容

鉄道警察隊について	2月の本会議における一般質問で駅員等への第三者加害に対する対応で7ヶ月が経ち、コロナ禍で事象は減少しているが、鉄道警察隊の活動体制や戦略的な列車巡回など総合的な活動を報告されたい。
被害を受けた鉄道路線の復旧などの支援について	激化する災害で土砂流入による線路復旧費用や代替バスなど鉄道事業者の負担が大きい。県として財政支援は考えていないのか。
防災・減災支援について	頻繁に発生する自然災害において、橋梁や地盤の強化が必要だが、豪雨対策費補助についてはJR西日本を除くとなっている。すべての鉄道事業者に財政支援を講じられたい。

「中バス・宮島フェリー」へ 広島県議会が運行継続支援金



交運労協へのヒヤリングを行う柿本議員(中央)

JR西労組組織内議員である柿本忠則議員が、広島県議会9月議会で、広島県民の異動手段を確保するために、新型コロナウイルス感染症の影響により、収益が大幅に悪化している公共交通事業者(乗合バス、旅客船)に対する支援を強く訴えた。結果、補正予算から約38億円を交付することが可決された。

これは、柿本忠則議員が、友誼団体である交運労協へのヒヤリングや現場の切実な声を、広島県知事をはじめ当局に、議会等で訴えたことにより、政策実現されたものである。この交付金より、中国JRバスに1億円以上、宮島フェリーに1,845万円程度(※港湾使用料も年度内は最大で3,600万円の減効果)が交付されることになった。

また、8月19日(水)に柿本議員が所属する民主県政会は、「公共交通機関を安心して利用できる情報発信」、「公共交通機関内でマスク着用」の積極的な啓発活動、「事業用車外からの公共交通維持に配慮した治山・治水対策」等、公共交通に関する内容を40項目に及ぶ内容を広島県知事に提言した。

柿本忠則議員が委員会を代表し、主旨説明を行った。これらの項目についても、今議会で多く反映される結果となった。

さらに、10月9日(金)13日(火)には、JR西労組地方議員団会議・幹事の栗山雅史議員(兵庫県議会)が、兵庫県議会決算特別委員会において、一般質問をする。また、8月19日(水)に柿本議員が所属する民主県政会は、「公共交通機関を安心して利用できる情報発信」、「公共交通機関内でマスク着用」の積極的な啓発活動、「事業用車外からの公共交通維持に配慮した治山・治水対策」等、公共交通に関する内容を40項目に及ぶ内容を広島県知事に提言した。

JR西労組・組織内議員が 私達の声を代弁し政策実現へ

連携を図り、政策課題などを政治に訴えていくこととする。

今日開催したバス対策委員会においては、新型コロナウイルス感染症への対応と会社経営動向に議論が集中した。

また、委員会には、JR連合「21世紀の鉄道を考える」議員フォーラム」所属の森屋たかし参議院議員にもZOOMで参加いただいた

たかし参議院議員に、ZOOMで参加いただいた。守屋氏から、コロナ禍の中、感染リスクを抱えながら移動の確保に動し組合員への謝辞をいただいた。

次いで、バス業界への予算措置の要望や、国民を支えるバスの運転手を含めた労働条件の課題等について意見交換が行われた。

塚本一尼崎間 消防隊員死傷事故現場で 献花行動

中央本部は11月6日(金)、平成14年の同日に塚本一尼崎駅間で惹き起こした消防隊員死傷事故現場において献花行動を行った。



慰霊碑に献花し手を合わせる



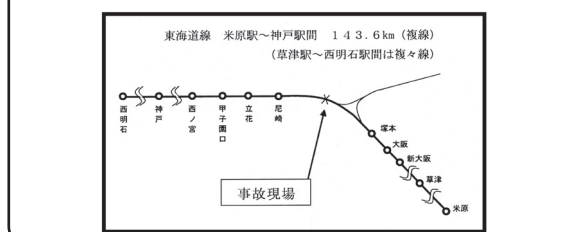
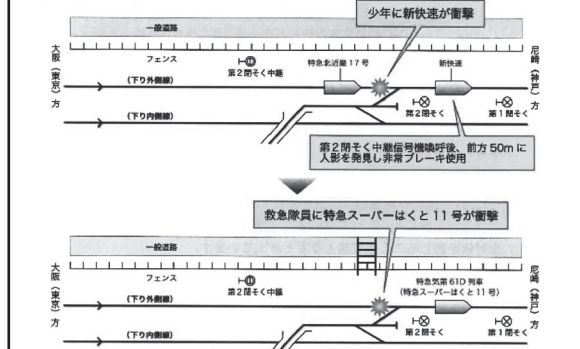
「祈りの杜」へも赴き献花を行った

あらためて事故でお亡くなりになられた消防隊員のご冥福をお祈り申し上げるとともに、ご遺族様や負傷された隊員に心からお詫び申し上げます、安全を誓った。

また、JR福知山線列車事故現場「祈りの杜」にも献花行動を行った。JR西労組は、引き続きすべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロに向けて取り組んでいく。

<事故概況>

平成14年11月6日19時45分ごろ東海道本線塚本駅構内の下り外側線において線路わきで人身事故(新快速が線路わきにいた少年に衝撃)の負傷者の救助活動を行っていた淀川消防署員2名に、特急スーパーはくと号が衝撃した。これにより1名が死亡、1名が負傷した。



第1回バス対策委員会開催 行政を巻き込む運動展開を確認

中央本部は、第1回バス対策委員会を、10月26日(月)、広島地方本部会議室において、両バス地域の代表者9名とともに開催した。安全の確立、両バス会社

の経営動向、及び活性化、新型コロナウイルス感染症への対応、2021春季生

また、バス会社の収支の悪化に歯止めがかからず、非常に厳しい経営状況が予想されるが、バス事業は、長期雇用を通じて、技

術・技能の向上のみならず、社員の定着率の向上を図っていくことが重要である。その認識に立ち、毎年安定的なバスアップの実施を持続させ、手当てに頼らない賃金体系を構築することが、組合員の生活の改善、労働意欲や求心力の向上に繋がることの見解が出された。

また、委員会には、JR連合「21世紀の鉄道を考える」議員フォーラム」所属の森屋たかし参議院議員にもZOOMで参加いただいた

安全・安定輸送に日夜奮闘している組合員と家族のためにも、みんなで力を合わせて難局を乗り越えよう!!